

## 幹事

武田良和

今年度は幹事という大役を全うするために改めてロータリーを学び直し、皆様の声に耳を傾け、クラブテーマ「ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！」を具現化できるよう精進してまいります。

また、各委員会の活動をしっかりサポートすることはもとより、学びの多い通常例会に加え、コミュニケーションをさらに深めるための変更例会、特に夜例会や委員会親睦会を担当委員会の皆さんと盛り上げてまいりたいと思います。

皆様、一年間黒子に徹しクラブ運営の活性化に取り組んでまいりますので、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

## 会計

会計 小野木 健治 副会計 山科 宏幸

今年度のクラブ方針予算に基づき、適正な資金管理・出納業務を行い、諸活動が円滑に運営されることを適正に処理をさせていただきます。

また、会員の皆様には下記の点について、ご理解とご協力をお願いいたします。

1. 会費の納入につきましては、納入期限を厳守していただきますようお願いいたします。  
前期分 令和6年7月31日  
後期分 令和7年1月31日
2. 支払請求につきましては、請求書又は領収書を幹事宛に提出願います。
3. 支払実行につきましては、原則として月末締め、翌月10日頃の支払いとさせていただきます。
4. 今年度は、物価高の影響による会場費等の値上げになっておりますので、改めて予算内での事業遂行に務めていただきますようお願い申し上げます。

# S.A.A.

S. A. A.	武 田 博 文	副S. A. A.	大 貫 良 一
副S. A. A.	佐 藤 淳	副S. A. A.	近 藤 和 幸
副S. A. A.	角 田 浩二郎	副S. A. A.	松 本 定 重
副S. A. A.	八 柳 祐 二	副S. A. A.	長 澤 純

遠藤会長の基本方針である「ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！」の下、楽しく和やかな中においても規律ある、スムーズな例会進行、例会づくりに努めます。

◎委員会報告のある委員会は、例会前にS.A.A.に届け出ていただきますようお願いいたします。

◎例会前に幹事と例会担当委員会と事前協議の上、臨みます。

◎委員会報告とは別にご報告のある会員は事前にお申し出ください。

# クラブ管理運営常任委員会

理事・常任委員長 富田 浩志

遠藤会長のクラブテーマ「ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！」に沿って委員会の運営を進めてまいります。

コロナ禍の影響もあり、世代を超えた交流や、新しい会員との交流、コミュニケーションづくりの機会となるよう、クラブの親睦と絆を深める年となるように努力してまいります。

そのために、今年度は遠藤会長の強い要望に沿って夕方からの委員会親睦会を開催致します。

西クラブの親睦と交流を重視し、絆を深めることが、更に力強い山形西ロータリークラブになり、ひいては、それが70周年に向けての推進力になることでしょう。

## 出席委員会

委員長	橋本 徳光	委員	飯田 喬之
副委員長	池田 将之	委員	浦口 太門
		委員	大沼 俊彦

ロータリーの目的の第一に「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」とありますように例会への出席はロータリー活動で最も重要なことに位置づけられています。

今期遠藤会長の方針として、実出席者数にこだわり、「80人」を目標とさせていただいております。(メイク以外の出席者) また100%例会を年3回実施いたします。

10月7日(月)のガバナー公式訪問、12月2日(月)の年次総会、3月3日(月)通常例会の3回、100%例会を考えております。

11月10日(日)開催予定の「地区大会」及び2月15日(土)開催予定の「IM」への参加呼びかけを行いたいと考えています。

MY ROTARY登録を推進してまいります。(登録者の確認と登録率のUP)

会員皆様方のご出席とご協力の程、お願い申し上げます。

## 親睦・家族委員会

委員長	三浦達雄	委員	長岡勲
副委員長	大城誠司	委員	及川善大
		委員	佐竹耀光
		委員	小野裕史
		委員	荒井敏夫
		委員	高橋勝彦

遠藤会長が掲げる「ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！～Let's Enjoy Rotary～」の指針の基、西ロータリーらしさ、品位と楽しさのある懇親会を企画し、家族同士の出会いの場を設けます。

年間5回担当することになるビアパーティー、クリスマス家族会、新年会、観桜会、最終例会の企画運営には委員会メンバーで趣向を凝らし、会員の皆様方に存分に楽しんでいただきたいと思います。合わせて各会員の懇親を深めるために各会の出席率も高める施策を考えたいと思います。

また、奥様が喜ぶプレゼントギフトも内容を充実させ、且つ受取り洩れなどがないようにご案内いたします。

会員、奥様の誕生日も引き続き毎月初めの例会にてご紹介いたします。

最後に会員の皆様にはご負担をお掛けしますが、昨今の物価高騰により例年の費用では会の運営が賄えなくなりました。

したがって、すべての会において会員は3,000円、ご家族は8,000円の会費をいただきますことを何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

## プログラム委員会

委員長 横 沢 善 則      委 員 西 谷 真 一  
副委員長 鈴 木 隆 一      委 員 服 部 正 人  
委 員 渡 辺 亮 人

毎週開催される「例会」は、ロータリーの目的である「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」を達成するために、重要な役割を持つ機会であり、まさにロータリー活動の根幹です。

今年度のクラブ方針「ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！～Let's Enjoy Rotary～」を実践するために、以下の基本方針でプログラム委員会は活動を行ないます。

### 〈活動方針〉

- 出席者数増加に繋がる卓話講師の選定
- クラブの力を高めることの一助となる卓話講師の選定
- 時代の変化に合わせた卓話講師に選定
- 全会員を巻き込んだ卓話講師の選定
- ロータリー7つの重点分野にそった例会の企画

以上の方針に基づき活動を行ないます。

## 友好クラブ委員会

委員長 菅 原 茂 秋      委 員 吉 田 福 平  
副委員長 鈴 木 浩 司      委 員 平 吹 和 之  
委 員 横 山 隆 太

今年度の会長方針で示されました「ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！」に基づき、友好クラブとの絆を深め、ロータリーを楽しむ機会として、金沢西ロータリークラブの60周年記念式典へ多くの会員の皆様とお祝いに駆け付けたいと思います。

今年1月の石川県地方の地震災害復興応援もこの機会にしていきたいと思います。皆様のご参加よろしくお願い申し上げます。

# 会員増強常任委員会

理事・常任委員長 **五十嵐 信**

本年度は、東海林健登委員長の職業分類・会員選考委員会、長谷川浩一郎委員長の会員増強委員会、武田岳彦委員長のロータリー情報委員会の3委員会を担当いたします。

現在のシステムを検証し、これからの10年、20年を見据えた会員の質的増強、量的増強について、議論を深めていきたいと思っております。

みなさまのご理解とご協力を心から願います。

## 職業分類・会員選考委員会

委員長 **東海林 健 登** 委員長 **澤 裕 二**  
副委員長 **市 村 清 勝**

### 計画概要

山形西ロータリークラブは、68年に亘る歴史と伝統のもと、数多くの優良な会員に恵まれた地区内随一のクラブであります。

70周年に向かい今年はこれからの新たなクラブ形勢の為に関連委員会と連携の上、以下の活動を計画します。

1. 既成職業分類の見直しと細分化、職業種別の追加を行う。
2. 今後の当クラブに必要なと思われる人材と職業分類の検討

## 会員増強委員会

委員長 長谷川 浩一郎 委員 遠藤 栄次郎  
副委員長 高橋 順弘 委員 遠藤 直樹  
委員 佐藤 信勝

ロータリーの目的である「奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」、これを達成する具体的方策の第1として「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」があります。

知り合いを広める手段・環境において、会員数が多ければ多いほど、交流と気づきの機会は増えます。さらには、会員の質が高ければ高いほど、良い研鑽と学びの機会は増えます。

そして、会員拡大活動というのは、ロータリーの志を地域に発信し共感していただく、クラブとして普遍的でとても重要な継続的運動でもあると考えます。

今年度、遠藤会長が掲げる方針である「ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！」ことを達成する為に、会員増強（会員拡大）は重要な役割を担っております。

現状においても、山形西ロータリークラブの「会員数の多さ（2800地区最大メンバー数）」は、数ある魅力の一つではありますが、今年度はさらなる高みを目指し会員拡大に努めます。

具体的な数値目標としては、会員純増7名・会員総数110名達成 [2024年6月末会員数103名] を目標に精力的に活動を行います。

また、次年度以降も持続可能な会員拡大活動が行われるよう「会員拡大 候補者リスト」の精査を実施いたします。

一方で、会員数保持には、退会防止も肝要な方策でありますので、特に入会歴の浅い会員や参加率の低い会員への声かけなどを実施いたします。

会員の皆様からのご紹介や貴重な情報をいただきながら、数年後の当クラブに想いを馳せて、今年度一年間、精一杯、会員増強に努めてまいります。温かいご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

# ロータリー情報委員会

委員長 武田 岳彦 委員 三沢 大介  
副委員長 安部 弘行

「ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！」のクラブテーマのもと、会員が西RCに対する理解を深め、楽しみながら、仲間との絆を構築できるよう以下の3つの活動を実施します。

- 1 クラブ会員に有益な情報を提供します。また、ホームページに載せる情報を広報委員会に提供し、閲覧を呼びかけます。
- 2 新会員、西山会を対象としたファイヤーサイドミーティングを開催し、西RCへの理解を深め相互の絆を構築します。
- 3 出席0会員へ、接点を作り、例会への出席を呼びかけます。



# クラブ広報常任委員会

理事・常任委員長 原 田 久 雄

この常任委員会は、会報委員会・広報雑誌委員会・史料管理委員会の三つの委員会から構成されています。

対外的なクラブについて、また、クラブ活動についての情報を提供し広く知ってもらおうとともに、正確な記録を残すことを目的にします。

今年度の会長方針に則り委員会を運営して参ります。

## 〈会報委員会〉

例会や諸行事において会報を発行します。正確で読みやすい紙面を心がけます。また、ホームページの更新やSNSを活用した広報活動に努めます。

## 〈広報雑誌委員会〉

「ロータリーの友」や「ガバナー月信」の見どころを例会に紹介します。また、会員に購読や投稿を勧めます。

## 〈史料管理委員会〉

クラブの70周年に向けて資料や記録を整理保存します。

## 会報委員会

委員長	東海林	仁	委	員	鏡	武	利
副委員長	角 田	健	委	員	岡 崎	重	知
			委	員	小 山		陽
			委	員	齋 藤	洋	也

クラブテーマ「ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！」に基づいた例会や各委員会事業の様子や情報を会員の皆様にわかりやすく発信いたします

出席者はもちろん、残念ながら欠席だった会員や家族の皆さんも一目でわかる画像やタイトル、コピーを工夫して作成します。

## 広報雑誌委員会

委員長	鈴木謙司	委員	尾形亨一
副委員長	石山茂利	委員	小林惠一
		委員	佐藤茂雄
		委員	佐藤英一

－計画概要－

- ・「ロータリーの友」「ガバナー月信」の見どころ、西クラブの記事、会員の投稿等を例会にて紹介いたします。
- ・西クラブの活動を一般の方々に知ってもらうため、メディアへの取材依頼を強化いたします。

## 史料管理委員会

委員長	戸田正宏	委員	清野伸昭
副委員長	平田智則	委員	武田周治
		委員	長谷川浩二

70周年に向けて、史料を整理・保存を行ないます。

# 職業奉仕常任委員会

理事・常任委員長 海 和 浩 運

当委員会は、職業奉仕委員会と職業交流委員会から構成されております。

職業奉仕は、ロータリーの金看板といわれておりますが、ロータリーの三要素である親睦・学び・奉仕の中で最も重要であるといわれております。

今年度は会長方針に基づき、職業を楽しみ職業を通じて支えあい学び喜びを知るロータリー活動を行ってまいります。

職業奉仕委員会では地域の職場訪問を実施し、職業奉仕の実践を学びます。

職業交流委員会では様々な職業とその知識の理解を深めるため会員同士の交流を図る企画を実施します。

## 職業奉仕委員会

委員長 山 科 宏 幸      委 員 新 藤 幸 紀  
副委員長 庄 司 時 雄      委 員 高 橋 昌 之

職業奉仕委員会は、職業奉仕こそがロータリーであり、職業人としてのロータリアンの務めであることを会員一人一人が理解し、深め合い、実践できるよう進めて参ります。

1. 職業奉仕の理解を深める為、新規事業推進などに取り組んでいる職場、若い社員が活躍している職場などを訪問し、幅広い知識を身に付け、事例を共有できる職場訪問例会を開催します。
2. 球風会を始めとする会員相互の交流の場をサポートします。

# 職業交流委員会

委員長 八 鍬 建 三 委 員 佐 藤 充 昭  
副委員長 坂 部 登 委 員 小 林 廣 之

職業交流委員会は、会員相互の交流を深めていただくことを目的に、下記の日程にて球風会を開催し、写楽会、茶遊会の企画運営をサポートいたします。

また、7RC親善ゴルフコンペへの参加を募り、サポートを行います。

今年度は、西風会の開催を見送り、代わりに3回の球風会開催を企画いたします。

多くの会員が交流できるように計画し、会の活性化を図ります。

ご協力の程、お願い申し上げます。

1. 2024年9月5日（木） 球風会ゴルフコンペ 蔵王CC
2. 2024年9月29日（日） 7RC親善ゴルフコンペ 蔵王CC
3. 2025年4月12日（土） 球風会ゴルフコンペ 蔵王CC
4. 2025年6月8日（日） 球風会ゴルフコンペ 山形GC
5. 写楽会、茶遊会の企画運営のサポート

# 奉仕プロジェクト常任委員会

理事・常任委員長 遠藤 正 明

当常任委員会は、社会奉仕委員会・ニコニコボックス委員会・青少年委員会の3つの委員会から構成されています。

遠藤会長の方針に則り各委員会計画を着実に実践して参ります。

## ○社会奉仕委員会

今年、『樹氷再生プロジェクト』を進化した形で実施していきます。この活動を、多くの企業・各種団体・市民へとその輪を広げるための道筋を作っていきます。

## ○ニコニコボックス委員会

社会奉仕活動を活発に行うための財源であるニコニコによる寄付の目的を、会員の皆さんに十分に伝えていきます。そして、会員の皆さんの様々な出来事を気持ちよくニコニコしていただける様に働きかけと工夫をしていきます。

## ○青少年委員会

次世代の青少年の育成を重要な役割と考え支援していきます。ローターアクトへの活動の理解を深める支援も検討、サブ世話クラブとしても活動も行っていきます。

## 社会奉仕委員会

委員長	酒 卷 雅 樹	委 員	酒 井 政 輔
副委員長	佐 藤 啓	委 員	吉 田 昌 弘
		委 員	菅 原 章 由
		委 員	内 山 秀 樹

社会奉仕委員会は、山形西ロータリークラブの重点事業として、一昨年から取り組んでいる『樹氷再生プロジェクト』をさらに進化した形で実施いたします。

一昨年は現状視察や問題提起、昨年は試験移植や播種を行いました。

本年度は、播種の量を増やすため、市内の企業や、各種団体を巻き込み、山形の大きな観光資源である樹氷が危機的状態であることを、あらためて広く市民に情報提供するとともに、約25,000本の枯れたオオシラビソを再生するための、実活動組織を作ります。

RID2800地区の補助金も活用しながら、1本でも多くの稚樹を育成し、樹氷を再生するための活動を各種団体、市民とともに行動に移します。

## ニコニコボックス委員会

委員長	大場友和	委員	高橋勝治
副委員長	高嶋俊幸	委員	堀野卓美
		委員	向田竜也
		委員	酒井啓史

前期同様に、例会開催前の手書きによるニコニコの書き込みのほか、事務局の例会出欠確認のグーグルフォーム内にニコニコボックスの項目を設け、当日手書きで記入する省力化施策を続けます。

新規会員を中心として、ニコニコボックスによる皆様の善意が、大規模災害の義援金などに貢献していることを定期的に報告し啓蒙します。

会員、家族、事業場等の慶び事、お祝い事をニコニコしながら披露し、喜びを分かち合い、又失敗したり、迷惑をかけたときもユーモアたっぷりに苦笑し、例会を賑わせて親睦を増進し、集まった善意は外部に対する奉仕活動の基金として使わせて頂きます。

## 青少年委員会

委員長	渡辺隆博	委員	小松公博
副委員長	後藤吉伸	委員	柴田健一
		委員	福塚一哉

青少年委員会は、会長方針に基づき次世代の青少年の育成を重要な役割とらえ支援してまいります。

### 活動内容

1. 東南村山地区中学高校英語弁論大会の支援
2. 山形大学の若手研究者支援（留学生受け入れ）
3. ローターアクトへの活動の理解を深め支援を検討

# ロータリー財団・米山奨学会常任委員会

理事・常任委員長 武田元裕

今年度の寄付目標は、ロータリー財団が150ドル/人、米山奨学会が15,000円/人です。皆様方の善意で目標を達成したいものです。

ロータリー財団の一番の成果は、ポリオ撲滅運動です。

1980年代半ばからスタートし、99%の達成率です。アフガニスタンとバングラデシュで撲滅できれば、世界中からポリオがなくなります。

米山奨学会は、民間奨学生制度では世界最大とも言われております。多くの国から奨学生を迎え、交流することにより、国際親善と世界平和の実現に寄与できるかもしれません。

皆様方のご協力、よろしくお願いいたします。

## ロータリー財団委員会

委員長 浦山 潔 委員 細谷 伸夫  
副委員長 斎藤 豪 委員 中山 眞一  
委員 佐藤 章夫

山形西ロータリークラブ細則に、本クラブは会員有志の善意に頼った募金を財団に贈って、高邁な目的を支援します。一定額の募金を達成するよう努めなければなりません。とあります。会員一人一人の善意を宜しくお願い申し上げます。

会長方針に従い本年は

◎「まだまだ知らない財団について」の卓話を実施予定  
ロータリー財団月間 11月18日（月）を予定

◎クラブ全員一人当たり目標の150ドルを達成するよう、全会員に働きかけます。

◎当クラブでの地区補助金の利用を検討し社会貢献に利用します。

## 米山奨学会委員会

委員長 芦野 茂 委員 伊藤 義彦  
副委員長 後藤 章洋 委員 半田 稔  
委員 早川 徹

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブ、東京RCを創立した米山梅吉翁の功績を記念して、1952年東京RCが『米山基金』の構想を発表しました。やがてこの事業は日本の全クラブの多地区合同活動に発展し、1967年に財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

米山奨学金は経済的支援ではありません。将来、日本と世界とを結ぶ架け橋となってロータリーの良き理解者となる人材を育てる事業です。

今年度はサブ世話クラブとしてジュ・ホソンさん（山形大学工学部 韓国出身）をサポートし、例会に招き奨学生との交流の場を作って参ります。また、10月21日の米山月間には地区委員会よりゲストを招き米山奨学会について卓話を予定しております。

米山奨学委員会には、寄付増進という任務も付随しますので、会員の皆様にはご理解頂きたいと思っております。

今年度も一人15,000円を目標として特別寄付10,000円をお願い申し上げます。